

県西教育事務所だより

未来に向かって 高い志を持ち たくましく生きぬく 人づくり
 「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 平成29年10月18日発行（第6号）

小学校外国語教育における新学習指導要領の円滑な実施に向けて ー移行期における取組の方向性についてー

10月6日（金）にひたちなか市文化会館で「小学校英語の新学習指導要領の実施に向けた協議会」が開催されました。新学習指導要領の実施に向けて、文部科学省担当者から「外国語教育の教育課程」や「移行期対応の新教材」等についての説明がありました。また、参加者同士の情報交換等を行うことにより、実施に向けての具体策や準備について共通理解を図ることができました。義務教育課からは本県の移行期の対応について以下のとおり示されましたので、確認願います。

本県の移行期の対応について

○平成30年度 外国語活動（3、4年）と外国語（5、6年）は15時間以上

必ず実施

第3、4学年…15時間以上の「外国語活動」（新教材）

第5、6学年…35時間の「外国語活動」+15時間以上の「外国語」（新教材）

→移行期対応の「新教材」については国から提供予定

○平成31年度 本県における新学習指導要領の先行実施

第3、4学年…35時間の「外国語活動」

第5、6学年…70時間の「外国語」

→原則として、外国語活動及び外国語の実施においては短時間学習（モジュール）ではなく1単位時間追加で授業を行う。

○移行期間中の評価は、現行学習指導要領（外国語活動）のもとで行う

国の方針から

移行期は新教材と現在授業で使用している
 “Hi, friends!” を併用していきます。

「文字」が導入される新教材！



【5年生用教材 We Can 1】

【生徒指導班より】

教職員のための「ヒヤリ・ハット事例集」の活用を！～教職員一人一人の危機管理意識の向上に向けて～

県西教育事務所では、この度、教職員のための「ヒヤリ・ハット事例集」を発刊いたしました。作成にあたりましては、管内の小中学校より「819事例」のご提供をいただき、その中から「156事例」を精選し、掲載いたしました。どれもが学校現場でいつでも起こり得る事例であり、児童生徒並びに保護者等への丁寧な対応、事件・事故の初期対応、そして未然防止に役立てていただけるものと思います。ぜひ、校内研修等で積極的にご活用くださいますようお願いいたします。

校内研修での活用例（15分～20分）

- ① 研修で活用する事例を選ぶ。
- ② 代表者が事例を読む。
- ③ 事例の問題点について考える。
- ④ 自校の具体的な対応策を考える。
- ⑤ グループ内で協議し、共有する。
- ⑥ 場面にあったチェックリストを活用し、自己点検を行う。
- ⑦ 校内全体で未然防止に向けた対応策を共通理解し、共通実践につなげる。

【研修のポイント】

- ・学校の現状に合わせて事例を選択し、若手の教職員が事例を読んだり研修会の進行をしたりして、ボトムアップ研修として実施することも効果的です。
- ・③、④については、事例集のアンダーラインで示されている状況（ヒヤリ・ハットした場面）がなぜ起きてしまったのかその「原因」や「背景」、同様事例の「未然防止に向けた具体的な対応策」について考える。
- ・グループは、同世代で編成したり、様々な年代を組み合わせるなど工夫する。
- ・チェックリストを活用し、研修後の状況についても自己点検を行う。



【生涯学習班より】

○ 就学前教育・家庭教育推進室から

・「家庭教育ブック」「つばさ」の活用を！

家庭教育学級、保護者説明会、授業参観、学校行事、学校だより等で活用をお願いします。
 「つばさ」アンケート協力校 筑西市立下館小学校、境町立静小学校
 「すくすく育ていばらきっ子」就学前から小学4年生の保護者対象

活用目標値：100%



(H29版 8月末発行)

○ 生涯学習課から

「いばらきっ子郷土検定」中学校2年生対象 市町大会の期日が決定しました。

古河市(11/7) 結城市(10/27) 下妻市(11/7) 常総市(11/6) 筑西市(11/1) 坂東市(11/6) 桜川市(11/7)
 八千代町(11/7) 五霞町(11/1) 境町(11/1) ※境町「第3回さかいつ子郷土検定 小学生決勝大会」(10/21)

「お手伝い・ボランティア奨励事業」アンケート協力校 下妻市立大室小学校 八千代町立中結城小学校

「人権教育地区別研修会」 県南・県西合同で実施します。

11月22日(水) 9:30～ つくば市民ホールとよさと

境町立猿島小学校では、学校教育目標である「自ら進んで学習し、社会の変化に対応できる心豊かな児童を育てる」のもと、目指す児童の姿を「進んで学習する子(かしこく)明るく思いやりのある子(ゆたかに)ねばり強くがんばる子(たくましく)」とし、日々の教育活動に取り組んでいます。松本理恵 教諭は、外国語活動の授業において「主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」を目指し指導に当たっています。

境町では、全小学校で「教育課程特例校」として、特色ある英語教育を平成17年度から実践してきました。特に、新学習指導要領の移行期を目前に控え、中学年に導入される「外国語活動」を実施する上で、たいへん参考になる実践を展開しています。

小学校中学年
外国語活動

【一手間一工夫のポイント】～『納得解』を実感できる授業とするためのポイント～

自分から英語を使おうとするための工夫
～マイフレーズとして活用するまでの過程～

1 職員研修：ワンフレーズレッスン

・褒め言葉などのフレーズの意味や使い方の研修を通して、授業中におけるクラスルームイングリッシュの使用への意識を高める。

- ・ nice. ・ good. ・ good job.
- ・ great. ・ really? ・ nice try!
- ・ wow! etc...

2 クラスルームイングリッシュの活用

・教師は、よさを認めたり励ましたりする場面において、職員研修から学んだフレーズをクラスルームイングリッシュとして活用する。

3 マイフレーズとして活用

・児童は、教師が用いるクラスルームイングリッシュから使ってみたいフレーズを振り返りカードに記入して集める。教師とのやりとりの中や、友達の発表の時など、マイフレーズを用いて自分から英語を使うようにする。

【松本教諭から】

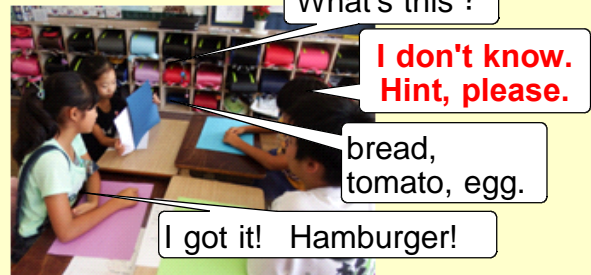
「マイフレーズ」の活用により、抵抗なく自然と英語を発するようになった。また、クイズ大会という場面設定を通して、児童が英語を用いる必要感をもつことで、自分から進んで英語を使って活動に取り組むことができた。4年生ではあるが、これらの活動を通して、英語への親近感、必要感が児童の意欲へとつながり、主体的にコミュニケーションを図ることができるようになった。

今後も、英語を楽しみながら身に付けていけるような活動を児童と共につくりあげ、高学年の外国語活動につないでいけるように中学年の外国語活動に取り組んでいきたい。

【実践例】 第4学年 クイズ大会をしよう
目標 What's this? It's ~. やマイフレーズを使いながら先生や友達とコミュニケーションを図ることができる。

英語を用いる必要感をもたせるための
場面設定の工夫

★クイズ大会をしよう



【ヒントを求めるときも英語で!】



Wow! Really?

【マイフレーズとしてのつなぎ言葉の活用】

★場面設定の工夫を行った他の授業実践

○境町を案内しよう (道案内)

○日本の食べ物を紹介しよう (食べ物)

興味や関心の高
まる題材を選定

【人事課からのお知らせ】

信頼される学校づくりのために・・・【服務規律の徹底】

- ① 信用失墜行為の根絶 (今年度の懲戒事例：盗撮、身体的接触、詐欺行為)
- ② 「3ない運動+2」の徹底及び、交通事故防止
- ③ 児童生徒、保護者、地域への丁寧な関わり、「ヒヤリ・ハット事例集」の活用

□風通しのよい職場づくり □チーム学校づくりの推進 □外部人材を導入したコンプライアンス会議

【公務災害等の教職員の負傷事故の未然防止】

□日々の健康管理 □学校行事等の実施前の体調管理

【施設・設備の安全管理の徹底】

□遊具、体育用具、施設・設備等の安全点検 □各施設等の施錠

【全国瞬時警報システム(Jアラート)等緊急情報発信時の対応】

□各学校の危機管理マニュアルに基づいた児童生徒の安全確保 □所管教育委員会への報告

【教員免許更新の確認】

○平成29年度の教員免許更新講習受講対象者

・第8グループ[13名未手続き]、第9グループ[200名未手続き]

新たに免許状を取得して延期申請をする場合、2度の手続きが必要となります。

- ① 新たな免許状の申請を行う。
- ② 新たな免許状の取得後に、延期申請を行う。

【注意】①、②の手続きをしないと、修了確認期限は延長されません。

